

3. 消防財政

1. 市町村の消防費

(1) 消防費の決算状況

消防費の決算状況は、下表のとおりである。

市町村普通会計及び消防費の決算状況

(単位：億円、%)

項目		30年度	29年度	増減額	増減率
普通会計歳出総額(a)	一部事務組合 を含む	22,479	22,387	92	0.4
消防費歳出総額(b)		1,127	1,103	24	2.2
(b)/(a)%		5.0	4.9		
普通会計歳出総額(c)	一部事務組合 を除く	22,185	22,090	95	0.4
消防費歳出総額(d)		934	912	22	2.4
(d)/(c)%		4.2	4.1		

また、消防費の市町村普通会計歳出総額に占める比率を市町村別にみると、酒々井町（7.8%）が最も高く、次いで九十九里町（7.7%）、鋸南町（7.4%）の順となっている。

(2) 1世帯及び住民1人あたりに支出した消防費

市町村における平成30年度消防費の1世帯当たり及び住民1人当たりの県平均額は下表のとおりである。

市町村別に見ると、住民1人当たりの消防費は、鋸南町（41,679円）が最も高く、次いで芝山町（35,156円）、御宿町（34,264円）の順となっている。

また、1世帯当たりの消防費は芝山町（101,031円）が最も高く、次いで鋸南町（94,889円）、大多喜町（94,650円）の順となっている。

1世帯当たり、住民1人あたりに支出した消防費の推移

(単位：円)

項目 / 年度		26	27	28	29	30
1世帯あたり	組合 含む 一部 事務	41,252	42,291	40,662	41,357	41,679
住民1人あたり		17,232	17,867	17,361	17,658	18,014
1世帯あたり	組合 除く 一部 事務	34,230	35,080	33,225	34,192	34,527
住民1人あたり		14,299	14,820	14,186	14,598	14,923

(3) 消防費の性質別内訳

消防費の性質別内訳は、次のグラフのとおりであるが、消防費のうち人件費の占める割合が高く、全体に占める割合は59%である。

平成30年度市町村別消防費性質別歳出決算額の割合（一部事務組合を含む）

単位：百万円

